

自分のことが、一番難しい

いよいよ採用選考が開始します。全日制の三年生、定時制の四年生は、とても緊張していることと思います。**どんな面接が合格するのか不安**も感じているのではないのでしょうか。

面接は知識の量や深さを確認するものではありません。経験や知識・技術が浅い高校生が、社会に出るための面接ですから。



では、面接では何を見られるのでしょうか？この生徒を受け入れて、他の社員と協力して働けるか？会社の一員としてお客様にサービスを提供できるか？毎日の仕事の中で、自分なりに工夫して目標を達成できるか、達成しようと努力できるかなどなど・・・様々ありますが、**全ては自分のことです。** そうなのです。**面接では皆さんのことを知りたがっている**のです。

自分の長所・短所、規律や時間を重んじることが出来るのか、なんでこの会社を選んだのか？**皆さんには真剣に自分と向き合うことが求められます。** 答えを暗記してすらすら答えられるのがよい面接だと一概にはいえません。

でも、黙り込んでしまったり、声が小さくなったり、自信がなさそうな様子はマイナスだと分かりますよね。自分のことを自信なく話すのはよくないですね。格好よく話す必要はありません。質問をよく聞き、何を聞かれているかを的確にとらえ、端的に話をするのが大切です。**まずは「結論」から話す！**

まだ、時間はあります。私も協力しますよ。「校長先生！面接練習をお願いします！」って言葉を待っていますね。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】先週、第二回模擬面接が行われました。緊張の様子で、面接を待つ生徒、面接を終え課題が明確になり悩む生徒、**「いいね！」真剣な表情は。** 見ず知らずの人に自分をよく見せることは難しい。でも、**一期一会**という言葉があります。出会い一瞬、縁一生です。皆さんは、クラスの仲間、先生方と出会い、そして人間関係を築いてきました。だから自信をもっていいです。その中で、我慢したこと、人に譲ったことなど、たくさんの方があったはず。その全てが皆さんの魅力です。がんばれ！



【定時】「現代文」の授業で永井（扇）先生が、模擬面接を終えた四年生に**面接の極意**を伝えました。「緊張すると、表情が硬くなり、声が小さくなる。」「面接で全部を話つくすことは無理、これだけは伝えたいことをキーワードとして整理しておくこと。」「伝えるためには、表情や声の大きさなど口調が大事」などなど、言葉を教える先生ならではの、**皆さんを「何とかしてやりたい」という思いが全面に出ていました。** 臆（おく）するな！荒工生！



「未来を創る！彩る！荒川工業」